



Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2024年4月 vol.25

2018年4月から始まった Oasis meets Books (以下、OmB) も本号で6年が経ちました。

これも皆様のお蔭です。誠にありがとうございます。

先日、同僚に「いい本があったら教えてください」と話したところ、すぐに長文で連絡をくれました。

とても嬉しく、すぐに購入しました。

オアシスでは年2回の書籍購入時、OmBで紹介いただいた本を何冊か購入しています。

2週間貸出しができますので是非、気軽にご活用ください。(教育委員会 委員長:前田 吉紀)

まんがでわかる 中村天風の教え / さとうもえ、鈴木 彩

老健 オアシス リハビリ / 理学療法士 檜垣 宏一



何かためになる本がないかな、と本屋へ行き、少し立ち読みをしてみるものものでも難しく、そこで目に入ったのが「大谷翔平選手も愛読している」と書かれた、



まんが版中村天風の本です。少し読むと、「人生の生き方」のようなことが書かれており、面白そうだなと思い、購入しました。

「運命には天命と宿命があり、宿命は積極的な心があれば乗り越えられる」、「本当の幸福というのは、人生がよりよく生きられる状態に自分ですることなんだもん」などが書かれています。他にも、モチベーションが上がるような内容・言葉、元気が出ることが色々書かれています。

気持ちというもの浮き沈みするものなので定期的に読んで、人生のためになればな、と思っています。

・次回⇒老健 オアシス リハビリ / 主任 轟 佳代

夢をかなえるゾウ1 / 水野 敬也

デイサービス オアシスきずり / 副主任 西村 由美



あらすじは、平凡なサラリーマンの主人公がゾウの姿をした神様「ガネーシャ」と出会い、「ガネーシャ」に与えられる課題を次々とこなしていくことで人生を好転させていくストーリーです。



平凡なサラリーマンの主人公は、それなりに頑張って生きてきました。しかし、成功者が集まるパーティーに参加した時、「自分はまだまだだ」と落ち込み、酔っぱらって家に着き、「成功したーい」と叫びます。ある日、目が覚めるとゾウが現れました。そのゾウは「ガネーシャ」という名前のインドの神様で、またキャラクターが強烈なんです!!

コテコテの関西弁で主人公の家に住みつき、ノートで、ゲームをしながら適当なことを言うのに良いことも言う。適当と真面目のバランスが絶妙で、読んでいて飽きません。そして、「成功したいなら課題をクリアしなさい」との事。

課題を一部ご紹介すると、
・「靴を磨く」⇒メッセージは「自身を支えている物・人を大切にする」
・「トイレ掃除をする」⇒「人のやりたがらない事を率先してやりなさい」等々。
これを読み、私も小さい事でも行動に移す。口で言うばかりではなく行動に移す、等を実践していきたい、とモチベーションが上がった本でした。

・次回⇒デイサービス オアシスきずり / 介護士 中村 明香

宇宙兄弟 今いる仲間であまくいくチームの話 / 長尾 彰

特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 金子 晋士



今回、私が紹介する本は『今いる仲間であまくいくチームの話』です。モーニングで連載されている『宇宙兄弟』という作品の魅力的な登場人物を通して『今いる仲間と一緒に、うまくやるにはどうするのか?』その心構えや方法を紐解いていく本です。



『宇宙兄弟』は、主人公の南波六太とその弟・日々人が、様々な壁に突き当たりながらも宇宙飛行士として成長していく姿を描いた物語です。

私は、積極的にリーダーシップを持って取り組むことが正直、苦手です。リーダーとして働くうえで、自分が模範となり、手本となって取り組むことが大切であることは勿論ですが、この本を読んでより大切だと思えたこと、それは『自分を知り、相手を知らうとすること』です。

チームで共に課題へ取り組む前に、まずはお互いを理解することから始めよう。会話・対話を繰り返し、課題や葛藤の解決に向けてチーム一丸となって取り組み、成功体験を少しずつ積み重ねていくことが大切だと学びました。

・次回⇒特養オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 杉山 伽奈

よしことクマオ キミのポケットの中には。 / ウマカケバクミコ

老健 オアシス 入所介護 / 副主任 笹田 紀世



この絵本の作者と私は高校時代からの友人で、ピュアで少年の心を持った彼女は大人になっても変わらず、周りを元気にさせてくれます。イラストレーターである彼女が描く絵はカラフルでほのぼの。多くのファンからの声でこの絵本が完成しました。



おしゃべりがニガテで怖がりなよしこと、箱の中で眠っていたクマオの出会い。その瞬間からぼっかぼかな心地よいふたりの時間が始まります。よしことおまじないを唱えると、気持ちのいい風が吹いて笑顔の花が咲いていきます。ふたりは引き寄せられる人のポケットに忍び込んで花の種を探しているのです。

…初めの一歩が出ない時、どうしても前に進めない時にふとしたきっかけで気持ちが軽くなることがあります。そんな時は、よしことがポケットの中で応援してくれているのかも?!子どもはもちろん、心も体もちょっとお疲れモードな大人にもおすすめの癒しの絵本です。

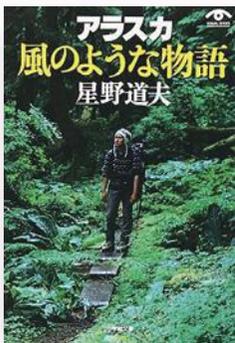
・次回⇒老健 オアシス 入所看護 / 看護師 三宅 昌世

アラスカ 風のような物語 / 星野 道夫

介護支援センター オアシス / ケアマネジャー 北住 夏代

私が今回おすすめしたい本は、「アラスカ 風のような物語」です。

この本との出会いはもうかれこれ15年以上も前になります。アメリカのテレビドラマ「たどり着けばアラスカ」という番組を見て、アラスカに強く興味を持つようになりました。そんな中、本屋さんでたまたま出会ったのが写真家、星野道夫さんのこの本でした。



本のページを開く度に、見たこともない光景が次々に飛び出てきました。無数とも思えるカリブーの大移動、翼を広げると2メートルにもなるハクトウワシ、川が真っ赤になる程の鮭の群れ、狩りをする熊、海にはクジラやセイウチ、山にはフワフワの苔、とにかくそこには私の知らない広大なスケールの、美しく、豊かで、厳しく、孤独な自然がありました。

人がとても住めないような土地、憧れが詰まっているのがアラスカです。作者の星野道夫さんの文章と共に写真を見ていると、まるでその場所に自分も存在しているような気持ちになります。一度手に取ってみてください。



・次回⇒ 介護支援センター オアシス 地下鉄平野駅前 / 管理者 山口大輔

大人の日帰り散歩旅 / 京阪神エルマガジン社

老健 オアシス 衛生 / 主任 榎本 洋子

散歩は特別な道具を必要とせず、幅広い年齢層の人が行うことができる運動のひとつです。その効果として、睡眠の質の改善、ストレス解消、ダイエットや美容の他、様々な生活習慣病の予防にも効果が認められています。



京都・宇治はお茶の香り、兵庫・舞子は明石海峡大橋の絶景や旧木下家住宅の佇まい、和歌山・湯浅は醤油の香り、兵庫・有馬温泉は気持ちの良い温泉と昔馴染みの炭酸せんべい、大阪・天王寺は四天王寺や天王寺動物園等々、季節を楽しみ、景色を楽しみ、匂いを楽しみ、雰囲気を楽しみ、時にはぶらぶらするのもいいですね。

そんな様々な散歩の楽しみ方が書かれていて、ちょっと足を伸ばして「散歩」に出かけたくなる一冊です。



・次回⇒ 老健 オアシス 衛生 / 築木 福子

あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。 / 汐見 夏衛

デイケア オアシス寿安 / 受付事務 齋藤 みのり

現代を生きる中学2年生の女の子“百合”が70年前、戦時中の日本にタイムスリップし、通りかかった特攻隊員の男の子“彰”に助けられ、彼が特攻隊として旅立つまでの2人のお話です。



国のために死ぬことが決まっている特攻隊員のほとんどが20代30代で、こんなに若い人にも容赦ない戦争の残酷さなど、現代では想像もできないことが起きていたことを考えると切なくなったと同時に、今私たちは何不自由なく生活していることが当たり前になっていますが、この作品を読んで、これは本当に幸せなことなんだと感じました。

映画が好評でしたので、本を購入してじっくり読んでみたのですが、とても読みやすく、人生とは、命とは、幸せとは・・・沢山考えさせられました。

皆さんに是非ともオススメしたい一冊です。



・次回⇒ デイケア オアシス寿安 / 介護士 兼 相談員 北原 智紀

オアシス文庫 recommend



この本では、たくさんある法律の中でも子どもに関係のある法律、知っておきたい法律をピックアップして書かれています。

小学生でも読めるように漢字には全てフリガナをふり、法律の難しい用語もできるだけわかりやすく表現し、マイページにはイラストをつけ、楽しく読めるようになっています。

普段、本を読まない自分でも、マンガを読んでいるみたいに楽しく読むことができました。

特に物語調ではなく、ちょっとしたすきま時間で何度も読み返せる本になっています。

著者がイジメの被害者、加害者の両方の経験を持っており、それでこの本を書いたとのこと、読んでみると、子どもを守ろうとする強い意志が感じ取れます。

大人でも知らないことがたくさん書かれています。是非、この機会に一度、読んでみてはいかがでしょうか。また、子どもがいらっしゃる方は子どもと一緒に！

(教育委員会：戸田 啓介)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出しできます▶



蔵書ご案内

こども六法
／ 山崎 聡一郎

編集後記

もう10年以上読書らしい読書をしていなかった頃、なんとなくネットで買った「狐笛のかなた」で上橋菜穂子さん沼にどっぷりはまり、守り人シリーズを一気に読みました。音楽の趣味が合う叔母へのプレゼントに贈ったら叔母はやはり、以降、色んな本をシェアしました。どうやら、好きな本の種類も似ているようでした。面白い本に出会うたびに送り、ラインで感想を言い合いました。叔母は自分では全然探さず、私が読んだ後に読むのを楽しみにしていたようです。

昨年末、その叔母が他界しました。最後に送った、叔母が好きそうな本は、残念ながら読む元気がなかったそうです。私もまた、雑多なことに追われ、長い間ゆっくりと読書を楽しめていません。先日、叔母の49日法要で、一番年上の孫からうれしい言葉を聞きました。「おばあちゃん(叔母)から借りた本はどれもすっごくおもしろかった!!」・・・また、時間を作って本を読もうと思います。

oasis

教育委員会

(教育委員会：中島美和子)